

## 業務改善の実施状況報告

組 織 名	関東森林管理局 塩那森林管理署	連 絡 先	0287-28-3125
所管する業務の概要	国有林野の管理経営、民有林の森林整備等の指導、治山事業の実施等		

1 職員の基本的な心構え・行動について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組実績及び現在実施している取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の課題とその改善策</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間の挨拶の励行、丁寧な電話応対を督励</li> <li>現場職員を含む定期出署日において、ビジョンステートメント、国民目線、組織人の条件など、新聞情報等を開陳、啓発している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間に自覚への個人差があり、個別指導による底上げを強化する必要がある。</li> </ul>

2 国民視点に立った業務の遂行について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組実績及び現在実施している取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の課題とその改善策</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>資源・事業内容が一目で分かるフロー図を作成し説明力強化</li> <li>地域別森林計画編成に先立つ住民説明会の開催と要望聴取。</li> <li>各種地域会議・行事（自治体、団体、NPO etc）への参加促進、挨拶、提言、森林林業情報の発信に努めた。</li> <li>県林務出先機関との連絡調整会議主催で地域森林・林業振興の連携強化策を論議・模索。</li> <li>地元報道機関を招聘し22年度事業計画を公表説明した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>併任ポストが多くルーチンワークに専念せざるを得ず、職員一人一人の発案による新たな取組に進展しきれていない。 取組内容の業務簡略化と管理者・職員連携のチームワーク醸成が重要。</li> </ul>

3 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組実績及び現在実施している取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の課題とその改善策</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の出署日開催により、内務職員と現場職員との情報・疎通の緊密化を諮った。外部講師による地元の歴史を学習。</li> <li>山岳地域の保全と安全確保に資する注意標識を設置した。</li> <li>国有林区域が現地で一目で分かる各森林事務所毎の林班界標示板を設置完了した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記同様、職員一人一人の発案・実行が容易でない。若い職員からの発案を引き出す必要。</li> </ul>

4 その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取組実績及び現在実施している取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の課題とその改善策</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林レクリエーションの森を紹介するガイドブックを8,000部作成し、駅・観光協会等に頒布し、国民への情報発信と利用を促した。</li> <li>アジア途上国の農村開発リーダーを育成する研修機関で森林と水と耕作(棚田)の連関の重要性を訴える講義を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験豊かな管理者層の発案が必要。</li> <li>森林・林業の重要性を伝導する資格取得者の養成が重要(林業改良普及員、森林インストラクター、林業技士 etc)。</li> </ul>